

みんなえがおに

小 三

わたしには六年生のお姉ちゃんがい
ます。お姉ちゃんにはしょうがいがあり
ます。歩けないしょうがいと話せない
しょうがいがあります。話せないのでつ
たえたいことがあってもつたえること
ができません。でもわたしが、

「〜したい？」

などと聞くと、首をふって答えてくれま
す。ですから、会話ができないわけでは
ありません。そんなしょうがいのあるお
姉ちゃんですが、とてもやさしいです。
自分のおもちやをわたしにかしてくれ
ます。また、わたしがお姉ちゃんの物を
取ってもおこりません。お姉ちゃんはや

りたいことができなかったのに、いやな
顔を見せないでずっとえがおでした。本
当はつらいはずなのに。わたしが友だち
とけんかをして帰ったとき、そのえがお
で暗かった気持ち晴れました。わたし
にはできない明るいえがおでした。

お姉ちゃんは歩けないので、車いすに
乗っています。自分でそうさできるとこ
ろがあっても、やり方が分からないので
行きたいところに行けません。わたしは、
お姉ちゃんのえがおが見たいので、車い
すをおします。お姉ちゃんは、

「んふふふ。」

とわらってくれます。ですから、わたし
もえがおになります。歩けなくても話せ
なくても、お姉ちゃんのおかげで家族に
えがおがふえます。

どんな人でも、人を幸せにできる力が

あると思います。わたしはお姉ちゃんが赤ちゃんるとき、手じゅつをして助けてくれたお医者さんに感しゃしたいです。お姉ちゃんが生きていてくれてうれしいです。

わたしは、お姉ちゃんだけじゃなくて、しょうがいのある人も、そうでない人も、手つだってほしいときに、安心してわたしに声をかけられるように「HAPPY TO HELP」のキーホルダーを身につけています。このキーホルダーは「お手つだいします」という意味です。わたしは、どんなときでも、どんな人にもお手つだいをしたいと思います。そして、いろいろな人のすてきなえがおをたくさん見たいです。